

GTH-C71/70シリーズ

GTH新搭載!

こまめな掃除が面倒なふる配管や排水口は「給湯器が自動で」キレイをキープ

W除菌だけの機能!

オゾン水配管クリーン



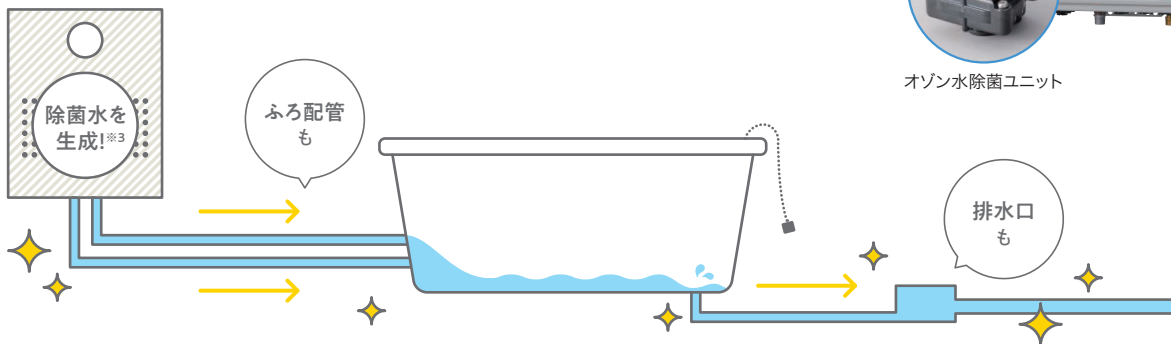
プレミアム(W除菌)

オゾン水を流して、見えないふる配管を除菌^{※4}
気になる排水口にたまった水のニオイを抑制^{※5}

浴槽水の排水を検知すると、自動でふる配管に新しいお湯を流したあと、除菌^{※3}効果のあるオゾン水でさらにキレイに。その後、循環アダプター、浴槽、排水管を経由し、洗い場の排水口へと流れることで、汚れが気になる各箇所を、毎日お手軽に自動でキレイにすることが期待できます。



オゾン水除菌ユニット

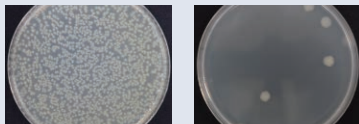


※水質などの条件によって、十分な効果が得られない場合があります。

※ふる配管の設置条件が一般のふる給湯器と異なります。配管の種類に合わせた配管距離内で施工してください。詳しくは工事書をご覧ください。

オゾン水配管クリーンのさまざまなメリット

● ふる配管 除菌効果比較^{※4}

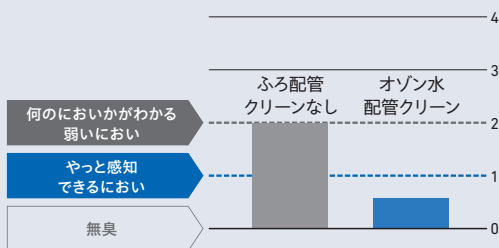


ふる配管クリーンなし オゾン水配管クリーン
※イメージ画像: 試験結果をもとにして作成

● 排水口 菌数測定比較^{※6}

	ふる配管 クリーンなし	オゾン水 配管クリーン
1日後		

● 排水口に溜まっている水のニオイ比較^{※5}



● 排水口 汚れ付着比較^{※7}



◆「オゾン水除菌ユニット」は除菌するものであり、汚れを落とすものではありません。また全ての菌に作用するものではありません。

※4 【試験機関】(株)衛生微生物研究センター【試験番号】2022D-BT-80009【試験方法】内壁に試験菌液を付着させたふる配管に対し「オゾン水配管クリーン」を実施。【試験結果】未実施時との比較で生菌数が99%以上減少。(実使用での実証効果ではありません。使用環境により効果は異なります。)

※5 【試験機関】(株)ノーリツ【試験方法】おとな4人が180L、40°C設定のふるに各10分間入浴後排水。「オゾン水配管クリーンあり」の場合と「ふる配管クリーンなし」の場合の、排水口に滞留した水を採取し、水のニオイを6段階臭気強度表示法にて評価。
【臭気測定機関】(株)総合水研究所【試験番号】N2304657【試験結果】6段階臭気強度にて「オゾン水配管クリーンあり」は0.5、「ふる配管クリーンなし」は2。(実使用での実証結果ではありません。使用環境により効果は異なります。)

※6 【試験機関】(株)ノーリツ【試験方法】おとな4人が180L、40°C設定のふるに各10分間入浴後、排水。「オゾン水配管クリーンあり」の場合と「ふる配管クリーンなし」の場合の、排水口に滞留した水に試験片を漬け置き、1日経過後の試験片表面を検査キットで拭き取り、残存した菌数を測定。
【菌数測定機関】(株)総合水研究所【試験番号】N2306374(実使用での実証結果ではありません。使用環境により効果は異なります。)

※7 【試験機関】(株)ノーリツ【試験方法】おとな2人が1週間毎日洗いで洗体。「オゾン水配管クリーンあり」の場合と、「オゾン水配管クリーンなし」の場合の排水口の汚れ具合を比較。(汚れがわかりやすいように、タンパク質成分を染色しています。)

●「AQUA OZONE」、「AQUA OZONE」マークは(株)ノーリツの登録商標です。

ノーリツの新技术
「AQUA OZONE」に
ついてはこちら



W除菌^{※1}

オゾン水
除菌
ユニット + LED-UV
除菌
ユニット

2つの除菌ユニットを搭載し、おふろ時間をもっと清潔に。

- ※1 LED-UV除菌ユニット(99.9%(※2)以上の除菌性能のUV除菌ユニット)とオゾン水除菌ユニット(99%以上(※3)の除菌水を生成するオゾン水除菌ユニット)の2つのユニット。
- ※2 [試験機関] (株)衛生微生物研究センター[試験番号]2021D-BT-10075[試験方法]UV除菌ユニットを通過前後の試験液の菌数を測定。流量9.5L/min。[試験結果]99.9%以上除菌。(実使用での実証効果ではありません。使用環境により効果は異なります。)
- ※3 [試験機関] (株)衛生微生物研究センター[試験番号]2021D-BT-11017[試験方法]オゾン水に菌液を接種し、残存した菌数を測定。[試験結果]接触時間10秒で99%以上除菌。(実使用での実証効果ではありません。使用環境により効果は異なります。)

UV除菌

プレミアム(W除菌/除菌)

入浴後のお湯の除菌^{※8}や残り湯洗濯のニオイを抑制^{※9}

浴槽のお湯をキレイにする「UVキレイ入浴」

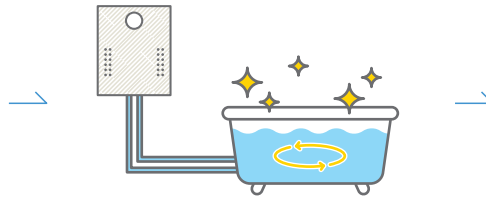
入浴の状況に応じて自動でUV運転を開始。給湯器が浴槽のお湯を取り込みUVを照射した上で、キレイになったお湯を再度浴槽に送るので、家族が入った後も気持ちよく入浴することができます。さらにUV除菌ユニットがLED化したことにより、退浴後5分間UV運転が動く「退浴検知運転」が可能になりました。



LED-UV除菌ユニット



退浴を検知してから一定時間経過。



浴槽の循環アダプターから残り湯を吸い込み、給湯器内のLED-UV除菌ユニットでUV照射。



次の人も気持ちよく入浴。

翌日の洗濯までに浴槽のお湯をキレイにする「残り湯UVキレイ」

最後の方の入浴終了後、翌朝の予約時間まで断続的にUV運転を行います。菌の増殖を抑制^{※10}した残り湯で洗濯できるため、部屋干し時のニオイの発生を抑制します。



台所リモコンで残り湯UVキレイの終了時刻を設定。



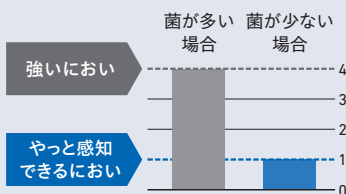
浴槽の循環アダプターから残り湯を吸い込み、給湯器内のLED-UV除菌ユニットでUV照射。



キレイなお湯で洗濯。

残り湯UVキレイの効果は抜群

● ニオイ比較^{※9}



● 菌数測定比較(循環アダプタ蓋裏面)^{※11}



◆「LED-UV除菌ユニット」は除菌するものであり、汚れを落とすものではありません。また全ての菌に作用するものではありません。
 ※8 [試験機関] (株)衛生微生物研究センター[試験番号]2021D-BT-10075[試験方法]180L、40°Cの試験液が入った試験浴槽においてLED-UV除菌ユニットを循環運転。流量9.5L/min。[試験結果]72分後で99%以上抑制。(実使用での実証結果ではありません。使用環境により効果は異なります。)
 ※9 [試験機関] (株)衛生微生物研究センター[試験番号]28D-BT-273[試験方法]におい原因菌が付着した試験布を6段階臭気強度表示法にて評価。[試験結果]「1.5X10⁶(cfu/mL)の試験液に浸した布」:臭気強度4、「1.8X10⁴(cfu/mL)の試験液に浸した布」:臭気強度1(実使用での実証効果ではありません。全ての菌に効果があるわけではありません。菌の種類・対象物の素材により効果は異なります。)
 ※10 [試験機関] (株)衛生微生物研究センター[試験番号]2021D-BT-10075[試験方法]180L、40°Cの試験液が入った試験浴槽において「残り湯UVキレイ」を実施。流量9.5L/min。[試験結果]14時間後、運転なしとの比較で99%以上抑制。(実使用での実証効果ではありません。使用環境により効果は異なります。)
 ※11 [試験機関] (株)ノーリツ[試験方法]おとな4人が180L、40°C設定のふろに各10分間入浴。「残り湯UVキレイあり」の場合と「残り湯UVキレイなし」の場合の、循環アダプタ裏面を検査キットで拭き取り、残存した菌数を測定。[菌数測定機関] (株)総合水研究所[試験番号]N2501177(実使用での実証実験ではありません。使用環境により効果は異なります。)